

クラス道徳

「許せないよね」



あらすじ

「私（香織）」のクラスでは、千佳が自慢のボールペンをなくして途方にくれていました。そんなとき、沙弥が「誰かが盗んだんじゃないの。」とささやきます。その夜、交流サイトでは、匿名で「盗んだのは沙弥だよ。」と書き込まれます。そこに千佳から「私」に、「沙弥が盗んだんだって。頭にきちゃう。」というメールが入り、「私」は半信半疑の中、つい、「そうよね。許せないよね。」と返信しました。翌朝、クラスでは、沙弥がボールペンを取ったという話題でもちきりでした。千佳は、沙弥に面と向かって盗んだんだろうと言います。仲裁に入ろうとした「私」に、千佳は「香織だって、許せないって言ったじゃない。」と怒りを向けてきました。

沙弥は本当にボールペンを盗ったのか？



私が、つい「そうよね、許せないよね」と返信してしまったのはどうしてだろう？

千佳と沙弥を前に、私はどんなことを考えているだろう？

このとき、沙弥はどう思っているだろう？

このとき、千佳はどう思っているだろう？

私が最後に困ってしまったのは、どうしてだろう？

<みんなの感動>

- 今日の千佳の行動を見て、自分の発言や行動にはもっと責任をもたないといけないことが分かりました。千佳のようにならないためには、行動や発言する前にちょっと立ち止まることが大切だと思いました。(Tさん)
- もし僕が私の立場だったら、まず、みんなの話を聞いて、ある程度犯人をしぼったり、その中から犯人を見つけたり、もう一度教室の中を探して、見つけるという2択のどちらかをしていると思います。(Tくん)
- もう自分たちは、周りの空気だけで何か言っている年じゃないから、自分の言葉一つひとつに責任をもって、この後どうなるか考えてから、行動に移す。(Nくん)
- 直接話してもいないのに、ネット上の、しかも匿名の人の言うこと信じて一人を責め続けるのはおかしいと思った。今の社会、これからの社会はこうしたトラブルが増えていく気がするので、ちゃんと面と向かって話し合うことを大切にしていきたいなと思った。(Tさん)
- 本音では一言を言ってしまったことで沙弥と私の信用もなくなるし、私と千佳の信用もなくなるし、一言で友達の関係が崩れると思った。(Mさん)
- 人の意見に流されることがダメだなと思ったし、自分の意見をもっと早く伝えないとアカンと思いました。SNSでやってしまうと一生残るので、自分の発言に責任をもたないといけないなと思いました。(Hさん)
- 勝手な思い込みや周りの意見に流されると、自分も困るし相手も困るから、自分の考えをもっておくことが大事。(Nくん)
- まだ、何もわかっていないのに、あいまいな返事はダメだなと思いました。だから、本当のことがわかってからじゃないと、何もわからないなら、考えて返事することが大事だと思った。
(Tくん)
- 自分の意見をもったり、人に流されないようにしないといけないことが分かった。自分の言うこと・やることには責任をもたないといけないということが分かりました。これからも一つ一つのことに責任をもちたいと思いました。(Kさん)
- 私はこのトラブルの理由は、人に流されて、軽い気持ちでインターネットの掲示板に書き込んだからだろうと思います。私は、この授業を通して無責任でみんなに噂を流したり、軽い気持ちでインターネットにのせたりは絶対にしないように心がけたいと思いました。(Oさん)
- 今日の学習をして、身近に起こりそうな問題だったから、今後「私」みたいにならないようにしたいです。人に合わせることも大切なときはあると思うけど、自分の意見をもつことも大切なときがあるということが分かりました。そのときに必要なのはどちらかをよく考えて行動したいです。(Tさん)
- 今日の授業で、何もわかっていないのに、人のことを疑ったりすることで、ケンカになり、友情がこわれてしまうかもしれないと思った。人に流されて、自分の思っていることを発言できないことはいけないと思った。(Kくん)
- ネット情報は信じない方がいいと思った。決めつけは良くないと改めて感じた、大事なペンとか持ってこなければよかったのに、持ってきた人も悪いと思った。(Uさん)
- 香織(私)が困ったのは、全部自分のせいだと思う。千佳から、メールが来た時、「証拠が無いからわからない」って言ってどっちの味方にもならなかったら、めんどくさいことにならなかったと思う。自分の意見を大切に、人に伝えられるような人になりたい。(Nさん)